

技術広報委員会委員殿

一般社団法人
日本グラウンドマンホール工業会
事務局 大石 直豪

第18回技術広報委員会議事録

1. 開催日時 2021年 2月17日(水) 15時00分～17時00分

2. 開催方法 WEB会議

3. 参加者 (敬称略)

委員長 広 滝 隆 行

副委員長 岩 上 智 一

委 員 清 水 壱 浩

同 荒 木 勇 輝

同 森 本 雅 樹

同 山 下 俊 哉

同 松 村 孝

同 松 島 誠 二

同 石 田 康 平

同 竹 中 史 朗

事務局 大 石 直 豪

欠 席 加 藤 好 広

同 鬼 頭 賢 吾

議事経過

初めに事務局より開催宣言の後、広滝委員長から、法人化した年であったが今年は対外的な活動が難しく出鼻を挫かれた状況だった。一方でコロナ禍によって状況も一変してWEB化・電子化の重要性も高まり、管マネガイドラインによる下水道台帳の電子化も示されており進む弾みにもなると思う。次年度の活動計画についても説明するため、活発な意見と議論をお願いしたい。との挨拶があり、その後審議に入った。

第1号議案：2020年度活動評価について

広滝委員長と事務局より、添付資料-①に基づいて技術広報委員会の2020年度活動報告について詳細な説明があった。

1. 2020年度の修正活動計画内容の再確認
 2. 技術広報委員会の開催概要説明
 3. 下水道認定資器材研修会での説明は、今年度はコロナ禍で中止となったが、次年度の説明会に向けて、新たな情報コンテンツを整理し説明資料を作成した。
下水協より情報入手してデータを蓄積・更新している下水道賠償責任保険の支払い実績内容を分析した。
 4. 下水協G4規格の次期改正に向けた調査
規格改定要請は任意の時期で良いことを下水協へ確認した。
下水協からGMの防食性能に関する規格検討要望があることを確認した。
 5. JGMAリーフレット・ホームページ
 - ・法人化に伴いロゴを見直した事。
 - ・新聞および雑誌に掲載する広告原稿を当委員会で検討し刷新した事。
 - ・新たなホームページの構成概要と作業進捗について。
- 以上の説明について、委員に意見・質問を求めたが特に無く、第1号議案を終えた。

第2号議案：2021年度活動計画(案)について

広滝委員長より、資料-②に基づいて技術広報委員会の2021年度活動計画について詳細な説明があった。

1. 技術広報委員会の開催計画(案)
 2. 下水道管路資器材研修会の対応
施工デモについては、実演に加えて説明パネルも追加して説明状況が参加者全員に伝わり易くしていく。
 3. 下水協G4 規格の次期改正に向けた検討
下水協の要望である防食性能と、残課題であるスリップ性能に関する規格化の検討、JIS規格との文言の整合などの課題がある。
尚、改定内容の検討にあたっては当委員会で議論してもらうが、まずは、技術者が委員に就いている長島鋳物、日本鋳鉄管、日之出水道機器で分科会を設置して検討課題を整理した上で、委員会で検討・議論することとしたい。
 4. ホームページのリニューアルと有効性評価、JGMA リーフレット等の更新
(GM 維持管理推進委員会、広報室との連携)
- 以上の説明について、委員に意見・質問を求めたが特に無く、第2号議案を終えた。

第3号議案：新作JGMA HPの共有について

事務局より資料③とデモサイトに基づいて新作するHPの作業進捗や構成について詳細な説明があった。

この後、新作HPについて各委員に感想や意見を募った。

(荒木委員)

現状のHPより格段に良くなり、一般の方にも楽しんで貰えそうな内容になっている。

事務局にスマホサイトにも対応しているか質問があり、対応している旨の回答があった。

バナーを活用して、GKPなどオフィシャルなイベントを掲示してマンホールマニアとの接点を設けられた方が良い。

(岩上副委員長)

サイトに動きがあり、HP来訪者の興味を喚起する構成となっており、良い印象を持った。

(松島委員)

会員の最新情報掲載に関しては、ガイドラインを設けた方が良い。

この意見に関しては、GMから離れないイベントやメディア出演情報、GMグッズ情報などの情報内容としたい。

更に、委員に意見・質問を求めたが特に無く、第3号議案を終えた。

第4号議案：下水協 2021年認定資器材研修について

事務局より資料④に基づいて、2021年度の認定資器材研修会の開催について、4会場の集合時間などの詳細な説明があった。

その後、屋内会場の講師について、暫定として以下の通りに講師を選定した。

- ・名古屋会場 : 大石
- ・浜松会場 : 大石
- ・大阪会場 : 広滝委員長
- ・京都会場 : 岩上副委員長

屋外講師については、日之出水道の久留島氏、今西氏で設定することとした。

※正式な講師は、次年度7月開催の第19回定例委員会で設定することとした。

その他：情報交換（次年度の委員会スケジュール等の検討）

- ・事務局より資料⑤に基づいて、2021年度の当委員会の開催日程案、工業会全体のスケジュール案について説明があった。

スケジュールは次月の理事会、6月の社員総会で正式決定する旨の補足説明があった。

- ・下水協の認定マークの取扱いおよび認定料適用の変更案内について、事務局より再度詳細な説明し委員に共有した上で、JGMAとしては受け容れられない旨の意見書を会員社に事前に共有した後に下水協へ提出するとの説明があった。

その後、意見等を募ったところ、以下の質問・確認があった。

(荒木委員)

他団体の対応情報はるか。⇒塩ビパイプメーカーは対応困難なので、意見書を提出するものと思われる。

(岩上副委員長)

荷重検査で廃棄する認定品も認定料の支払い対象になるか。⇒下水協からの説明に従うと、検査品も認定料の支払い対象になるものと思われる。

以上で議案審議を終了し、最後に岩上副委員長より閉会挨拶があった。

この議事録を証するため、委員長次に記名押印する。

2021年 2月17日

一般社団法人
日本グラウンドマンホール工業会

技術広報委員会委員長 広滝 隆行

